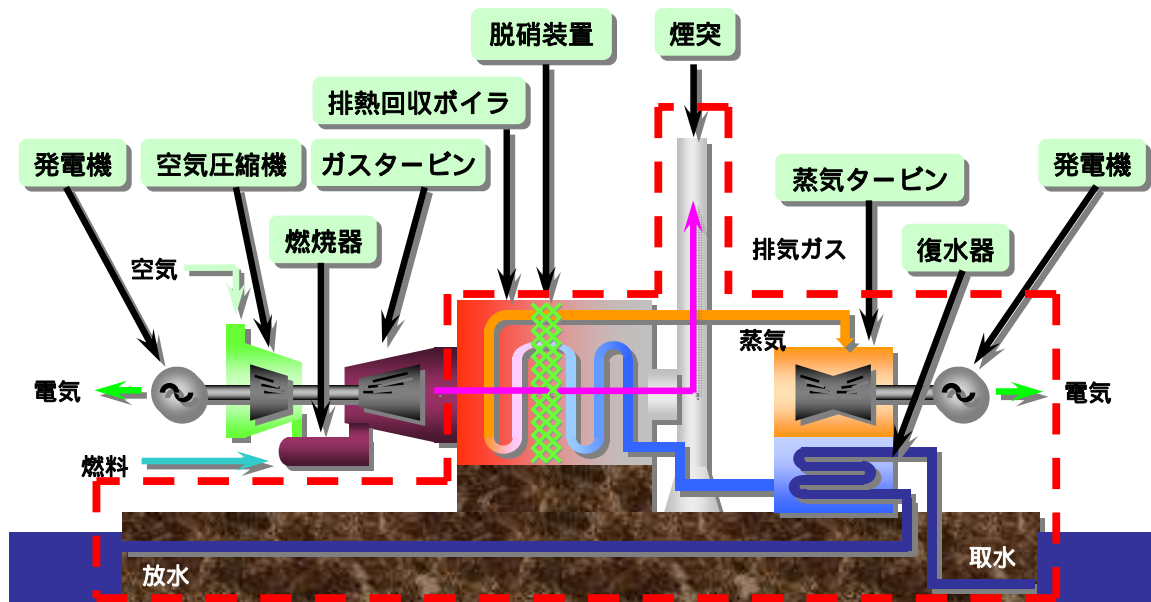


ガスタービン発電設備のコンバインドサイクル方式への変更について

コンバインドサイクル方式への変更とは、ガスタービン発電設備に対して排熱回収ボイラ、蒸気タービンおよび発電機などを追加設置するもので、これにより、ガスタービンの排熱を有効利用し、新たな発電用燃料を使用せず出力を合計で約 44 万 kW 増加させ、熱効率の向上を図ることができます。また、排熱回収ボイラに併設される排煙脱硝装置により、運転時に発生する窒素酸化物の排出量を抑制し、環境負荷の低減を図ることができます。

< 参考 > コンバインドサイクル方式への変更に伴う工事範囲



赤枠内がコンバインドサイクル方式への変更に伴い新しく設置する機器